

函館 いじめ見逃しゼロへ

～いじめ見逃しゼロの学校・地域を目指して～

いじめについては未然防止の観点に立ち、まずは学校が、日頃から個に応じたわかりやすい授業を行うとともに、深い児童生徒理解に立ち、子どもが楽しく学びつつ、いきいきとした学校生活を送れるようにしていくことが重要です。

また、未然防止や早期対応に関する取組については、学校と保護者が緊密に連携し、推進していくことが大切です。

特に、大人が気付きにくい「ネット上のいじめ」については、保護者や教師自身が、ネット機器やアプリの各機能に関する基本的な知識を習得し、理解を深めていくことが必要です。

日頃から子どもたちの利用実態について関心をもち、その把握に努め、いじめ見逃しゼロの学校・地域を目指しましょう。

保護者のみなさまへ

子どもが、友達の間で何かしらの行為を受け、**心身の苦痛**を感じていれば、**学校はいじめと認知**します。

- 子どもの感じる被害性に着目して、いじめかどうか判断します。
- 好意から行った行為が意図せずに相手側の子どもに心身の苦痛を感じさせてしまったような場合、学校は「いじめ」という言葉を使わずに、子どもたちに指導することもあります。



子どもの変化に気付いたら

「いじめかな？」と心配になったら、保護者から子どもに声をかけてみます。

- 「よく話を聴く」ことがポイントです。最後まで丁寧に聴いてみましょう。
- 子どもにとっても、思いを言葉にしてみると、自分の心の中が整理されて、心が軽くなる場合があります。



家庭で悩んだり、困ったりしたら

保護者だけで悩まず、学校に相談しましょう。

- 学校での子どもの様子を知ることにより、家庭では気が付かなかったことや対応方法に気が付くことがあります。
- 学校には、管理職や学級担任以外にも、養護教諭や子どもの心のケアをするスクールカウンセラーがいますので、保護者が相談しやすい教職員等にお話してください。



「いじめのサイン発見シート」



<https://x.gd/jouEs>

引用：文部科学省 HP

SNS等に画像や動画が拡散する事案に備えて

Instagram, LINE のグループチャットなどに不適切な画像等が出回ってしまう「自撮り被害」「児童ポルノ被害」が増えています。もし、子どもが不適切な画像や動画を学校の誰かに送ってしまったら、他の子どもたちの間で不適切な画像等が広まってしまったりしたら、どのようにしたらよいかを考えてみましょう。

1 どのように拡散を防ぐか

子どもが、「不適切な画像を送付した側」だった場合、**学校と警察へ相談**します。

拡散した画像を削除するために、警察等の関係機関の協力が必要です。

2 加害者になってしまう危険性

子どもが、「不適切な画像を受け取った側」だった場合、絶対に**他の人に広めないこと**、すぐに**信頼できる大人に相談**することなどを日ごろから伝えておきましょう。

いじめ等の問題について考える集会（小・中学校集会）

「函館 いじめ見逃しゼロへ～いじめ見逃しゼロの学校・地域を目指して～」をテーマに、小学校5校、中学校4校・義務教育学校1校がそれぞれWEB会議システムを活用し、各学校の取組の紹介と、「いじめ見逃しゼロを目指して、私たちができること」について協議を行い、いじめの未然防止、早期発見・早期対応等の大切さについて確認しました。

□ 小学校集会

- 開催日：令和5年10月31日（火）
- 参加者：（司会・発表）函館市立高丘小学校、（発表）上湯川小学校、旭岡小学校、鱒川小学校、楳法華小学校の児童、保護者、学校関係者、関係機関等
参加者計60名



参加児童の声

【アンケートからの抜粋】
参加した5校の小学校の取組を知ることができ、とても意義のある交流ができたと思います。次は、自分の学校でも各校の取組を参考に、「いじめ見逃しゼロ」を目指して取り組んでいきたいです。



小学校集会
参加校の取組
【当日配付資料】



□ 中学校集会

- 開催日：令和5年12月19日（火）
- 参加者：（司会・発表）函館市立本通中学校、（発表）五稜郭中学校、赤川中学校、鱒川中学校、戸井学園の生徒、保護者、学校関係者、関係機関等
参加者計41名



参加生徒の声

【アンケートからの抜粋】
集会形式で、いじめについて取り組みましたが、他校では日頃から「いじめ見逃しゼロ」に向けて活動を行っていることを知り、今後は「学校全体の仲を深める」という視点からも活動を行いたいと思います。



中学校集会
参加校の取組
【当日配付資料】



児童・生徒のみなさんへ 学校の先生や家の人にお話しできないときは、一人で悩まず、以下に相談してください。

はこだて子どもホットライン(子どもの悩み相談電話)

- 相談日 毎週月曜日～金曜日（祝日をのぞく）
時間 8時45分～17時30分
- (57) 6644 (函館市こころの相談員相談電話)
 - (57) 3009 (")
 - (57) 8251 (函館市南北海道教育センター)

ネットパトロール連絡フォーム

SNS等、ネットでのトラブルに巻き込まれている場合には、学校に相談し、「ネットパトロール連絡フォーム」に相談したり、サイト管理者・プロバイダへ連絡をしたりするなど、すぐに対応することが大切です。

連絡フォーム



その他の相談機関

- 子どもなんでも相談110番(子ども家庭総合支援拠点) (32) 3192
子ども専用電話 0800-800-0879
月(8時45分～19時00分) 火～金(8時45分～17時30分)
- チャイルドライン(18歳までの子ども専用) 0120(99) 777
毎日16時～21時
- 函館家庭生活カウンセラークラブ (84) 8742
月金(10時～15時 函館市女性センター内)
水(10時～12時 函館市女性センター内)
火木(18時30分～20時30分 函館市女性センター内)
木(13時～15時 亀田支所内) (45) 5581
火(10時～12時 湯川支所内) (57) 6161
- 函館地方法務局子どもの人権110番 0120-007-110
月～金(8時30分～17時15分)
- 法務少年支援センターはこだて (30) 7877
月～金(9時～17時) ※12時～13時および祝日をのぞく
- 法務省インターネット人権相談(24時間受付) <https://www.jinken.go.jp/>
- 文部科学省子供のSOS相談窓口(24時間受付) 0120-0-78310

令和5年度 函館市いじめ防止対策審議会委員

<いじめ防止対策部会>

- 阿部 真之 (函館市立戸倉中学校・校長)
- 紺田 智 (函館市立中部小学校・教諭)
- 干山 毅 (函館市PTA連合会・顧問)
- 川合 裕紀子 (函館人権擁護委員協議会・委員)
- 松浦 まどか (函館市公募委員)
- 北原 淳 (北海道函館児童相談所地域支援課・課長)

<重大事態調査部会>

- 鶴 素直 (湊法律事務所・弁護士)
- 多田 直人 (五稜郭メンタルクリニック・院長)
- 伊藤 繁子 (函館家庭生活カウンセラークラブ・代表)
- 斉藤 健夫 (函館市青少年補導センター・育成補導員)
- 秋山 隆行 (函館市スクールソーシャルワーカー)
- 鈴木 淳 (北海道教育大学函館校教職大学院・特任教授)
- 本田 真大 (北海道教育大学函館校・准教授)
- 山村 哲 (北海道社会福祉士会道南地区支部)